

新札幌循環器病院広報誌

サンプラザ

<https://sshoc.jp>

vol. **92**
2023.Spring

- 理事長就任のご挨拶
- 下肢閉塞性動脈硬化症





理事長就任のご挨拶

理事長 金 伯士

このたび令和5年2月1日付で理事長に就任いたしました金 伯士(きん はくし)と申します。就任にあたり当法人のあゆみと今後の法人の抱負をあわせてご紹介させていただきます。

医療法人サンプラザ新札幌循環器病院は、昭和56年(1981年)に初代理事長である金 有世によって地域に根差した医療を提供すべく新札幌サンクリニックとして産声を上げたことに始まります。その後、地域の方々の支持を得て昭和63年(1988年)に新札幌サンプラザ病院へと発展し、平成10年(1998年)には、厚別区で初めての循環器治療を専門とする新札幌循環器病院が始動いたしました。佐々木孝 前々理事長、馬場雅人 前理事長のご尽力により、循環器専門病院として地域に貢献してまいりました。当法人には40年以上におよぶ地域での実績があります。一方で、未曾有の少子高齢化、新型コロナウイルスによる世界規模の感染症の蔓延など医療を取り囲む環境は変化し続けています。このような中で、地域に必要とされ、地域に貢献できる病院というぶれない軸をもって、循環器という専門領域を最大限に生かしたコミュニティーホスピタルを目指していきたいと考えています。そして、体の中を駆けめぐる血液の循環を癒すだけでなく、この厚別の地で、患者さんと病院スタッフといった人とひとも良好に循環する場所としての役割も当法人が担っていきたいと考えています。

循環器の専門医療を24時間体制で提供できる体制を維持するとともに、積極的に地域へ出向き、地域のニーズに耳を傾け、地域の皆さんが安心して過ごせる病院づくりを目指し、日々精進していく所存です。今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。



かしへいそくせいどうみやくこうかしょう 下肢閉塞性動脈硬化症

ちょっと気になる
健康の話



下肢閉塞性動脈硬化症は、下肢(足)に栄養を送っている血管に動脈硬化が起こり、血管が詰まって血液が流れにくくなる病気です。そのため、足や脚が痛くなったり、感覚が鈍くなったり、冷たく感じたりすることがあります。進行すると、足の指や爪が黒くなってしまいうこともあります。

この病気は、血管の中に脂肪やコレステロールが詰まって血管が詰まることが原因です。高血圧や糖尿病、高脂血症などの生活習慣病が原因となることが多いです。

治療には、薬を使った治療や手術がありますが、予防することも大切です。具体的には、禁煙、運動、健康的な食生活などの生活習慣を改善することが重要です。

もし足が痛くなったり、感覚が鈍くなったりした場合は、早めに主治医にご相談ください。

好発例	中年男性(50歳以上)
危険因子 ※動脈硬化の元となるもの	高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、加齢、腎不全
好発部位	足(歩行でふくらはぎが痛くなるのが典型的な症状)



症状

●歩行障害(初発症状で最も典型的な症状)

一度に長い距離が歩けず、途中で休憩しなければ歩けなくなる症状を「間歇性跛行(かんけつせいはこう)」といいます。一旦休息することにより症状が軽減し、再び歩行が可能となります。

●その他:足のしびれ、冷感

●重症化:安静時の痛み、組織の壊死

治療法

●運動療法(ウォーキングが効果的)

●薬物療法 ●血行再建術



